

2026年3月期 第3四半期 決算説明会

2026年2月5日
株式会社MARUWA (5344)

ご注意事項

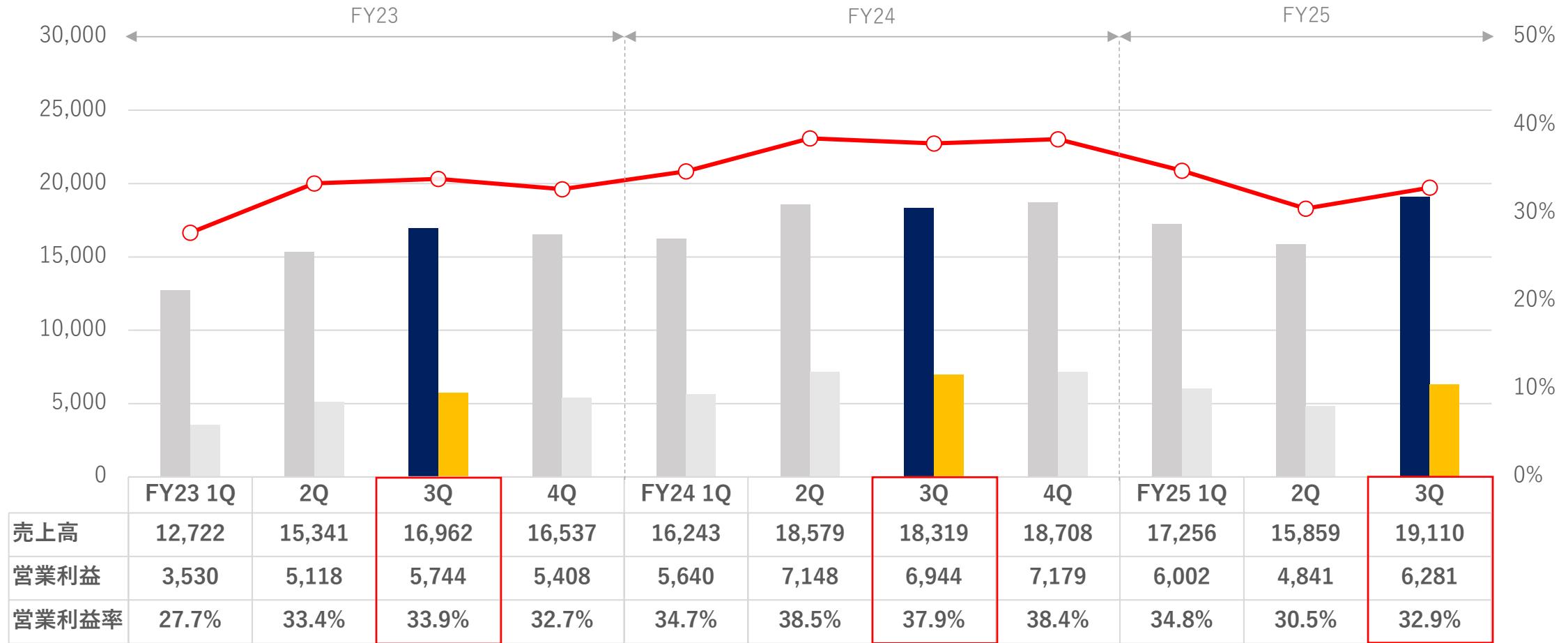
本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
将来の見込みに関する事項については、現時点で入手可能な情報に基づいており、
将来の事象により変動する可能性があり、内容を保証するものではありません。
なお、本決算説明会の模様は、今後の運営の向上のため録音録画いたします。

	FY2025 3Q累計(4~12月) 対前期増減 YoY	FY2024 3Q累計	
売上高	52,225	△1.7%	53,141
営業利益	17,124	△13.2%	19,734
経常利益	18,029	△10.0%	20,034
四半期純利益	12,332	△11.7%	13,965

(金額：百万円)

2. 四半期業績

- 3Qは、上期に市況が弱含んだ車載、半導体関連で回復が見られ、順調な進捗。
- 4Qは、次世代高速通信向けの大幅な増産により、四半期として過去最高の業績を見込む。



(金額：百万円)

3. 市場別売上高

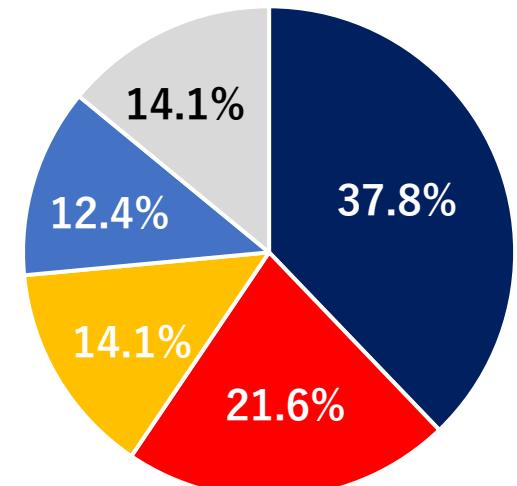
■市場別売上高

- 情報通信：次世代高速通信向けが高水準で推移。
- 車載：新エネルギー車は在庫調整が終了し、回復局面。
- 半導体：生成AI関連が好調に推移するほか、汎用メモリ関連も着実に回復。

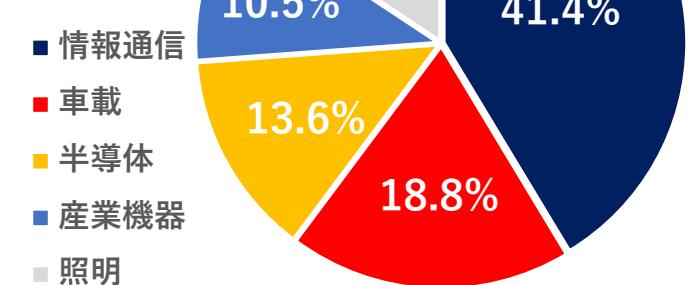
	25年度 3Q(10~12月) YoY		24年度 3Q
情報通信	79億円	+ 13%	70億円
車載	36億円	△10%	40億円
半導体	26億円	± 0%	26億円
産業機器	20億円	△13%	23億円
照明	30億円	+ 15%	26億円

■構成比

24年度 3Q



25年度 3Q



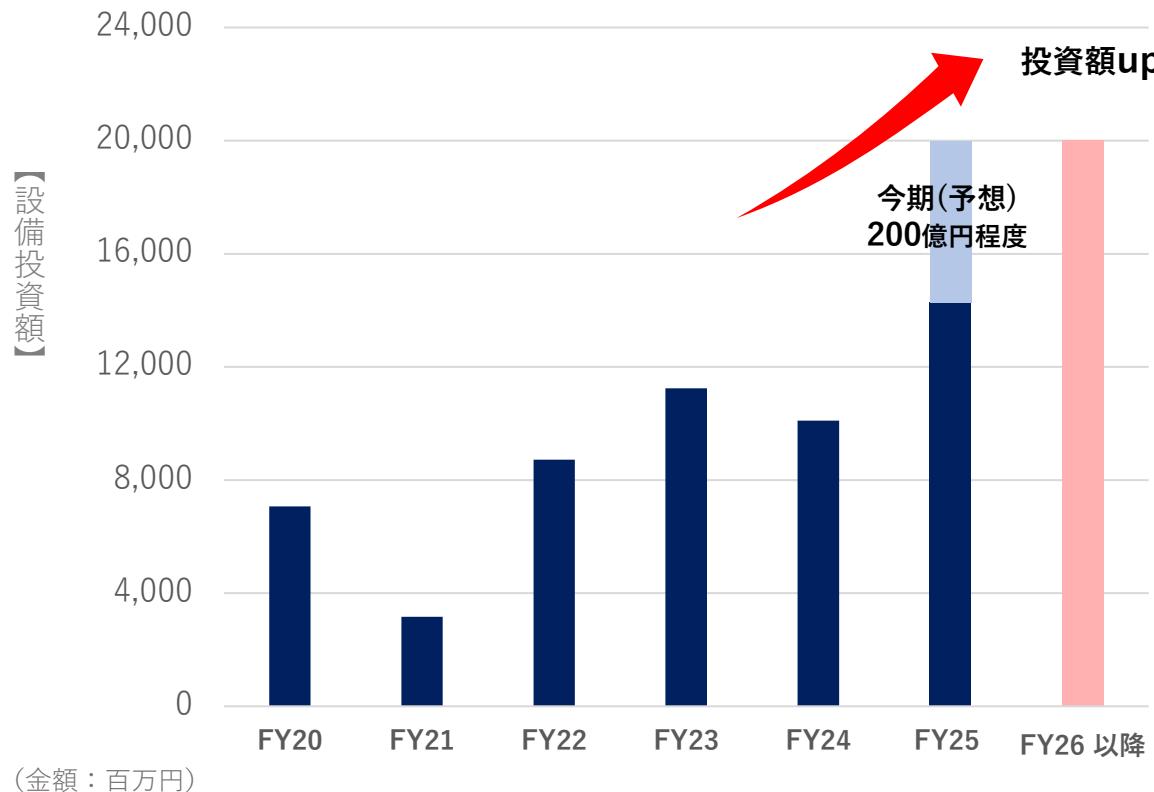
※上記は速報値となります。金額は億単位未満を四捨五入し記載しております。

市場	状況
情報通信	<ul style="list-style-type: none">・4Qからの次世代高速通信向けの大幅増産は順調（次期モデル立ち上がり）。・エンド需要が一層強くなっていることから、来期も一層の成長期待。
車載	<ul style="list-style-type: none">・新エネルギー車関連の在庫調整は終了し、回復局面。・来期から再び成長の見通しで、併せて自動化や歩留まり向上による収益向上を図る。
半導体製造装置	<ul style="list-style-type: none">・生成AI関連の需要が好調に推移するほか、下期から高純度SiC製品も拡大。・汎用メモリ関連は着実に回復が見られ、来期からの本格回復に向け、生産体制を強化。
産業機器	<ul style="list-style-type: none">・パワーモジュール関連は市況によりスローダウン。・一方で医療関連の新製品は需要が増加。
照明	<ul style="list-style-type: none">・2027年蛍光灯製造禁止によるLED需要の増加や、首都圏の高級新築マンション市場の拡大に伴い、ハイエンド照明が堅調に推移。

5. 設備投資・減価償却

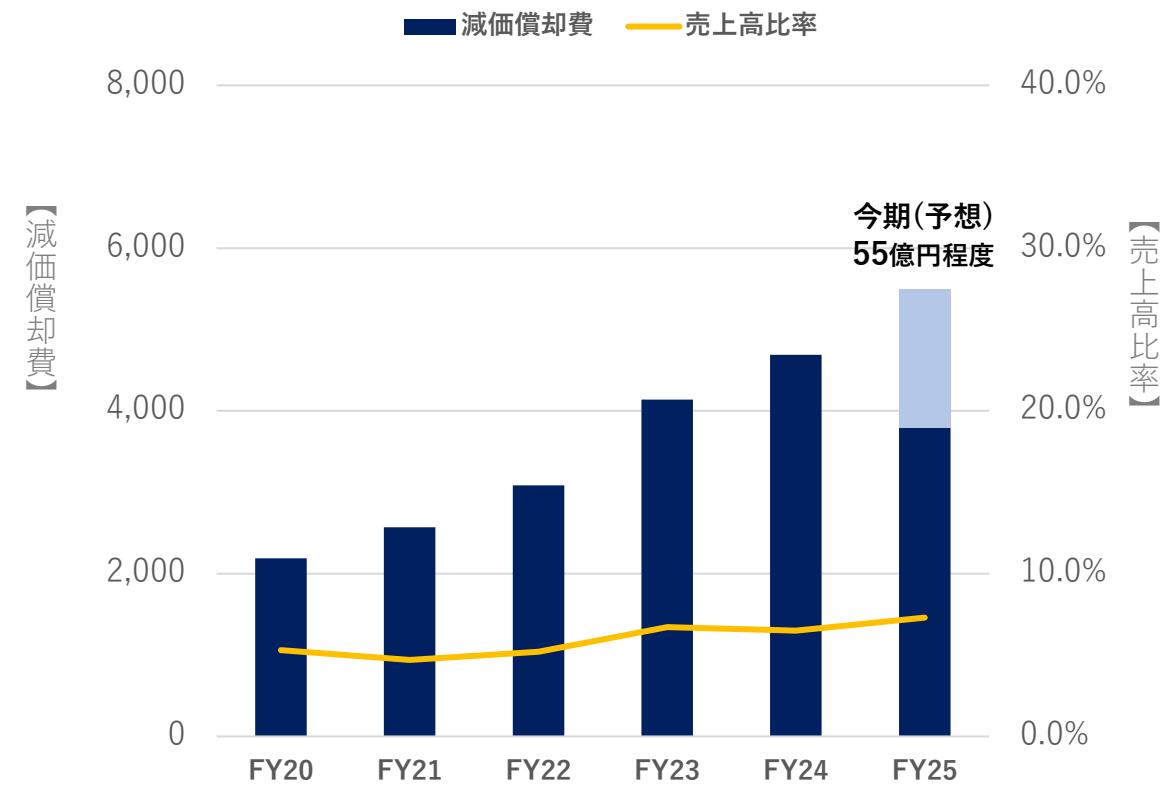
■設備投資

- 中長期での成長に向けた新工場・新棟への投資、生産性向上・品質向上に向けた投資
- 新工場計画は順調に進捗中



■減価償却

- 競争力・生産性の向上に着実につなげていく
- 市況を注視し、新規設備の稼働は柔軟に対応する





MARUWA